

## 平成 27 年ふれ愛の館しおん事業報告

### 1 総括

平成 27 年度は、地域包括ケアの拠点として、CSW の本格事業等、積極的に事業展開を行ってきた。特に住吉区東地域圏域において高齢者福祉に対し拠点として役割を強化するため、地域の事業所からも信頼がおけるように働きかけを行い、地域のニーズに合った社会資源づくりを実施してきた。ネットワーク事業に関しても行政機関（特に保健師や生活保護課）との連携強化を行い、各種団体のネットワークの充実に繋げている。

しかしながら、通所系サービスは依然として赤字の経営となり、4 月から始まった特定事業所減算については経営の赤字に煽りを受けることとなった。次年度は、このような管理職・熟練・中堅が役割を把握し体制強化し経営改善が図れるように検討する必要がある。

### 2 目標の振り返り

#### ① 地域包括ケアの拠点としての強化

地域包括ケアの拠点として地域ケア会議の開催 年 13 回

地域課題抽出型ケア会議（学識経験者招待） 年 2 回

保健師や生活保護団体との交流研修会を実施

認知症介護のノウハウを地域展開する地域向け講座の開催

食事会 6 カ所に訪問による認知症の早期発見

認知症の方と交流する歩く会の継続支援、全国版「ラン伴」への参加

CSW 実施により、より充実した相談体系の構築

：包括の相談件数前年度比 800 件減に対して CSW に対する総合相談は 790 件と増加。

#### ② 介護保険制度改正体制整備

通所介護のサービス提供時間の改善 5 時間～7 時間→7 時間～9 時間

訪問介護事業の他事業所からの紹介率の増加

ケアマネの担当件数の安定 平均 32 ケース（特定事業所加算取得継続）

等を実施してきた。しかし、全体の相談件数の増加はしているが、特定事業所減算により、第 2 デイサービスとホームヘルパー事業所では利用に繋がれない状況となった。

#### ③ 特別養護老人ホーム開設に向けた、小規模多機能居宅事業の立ち上げ、委員会活動の推進 建築検討会の定期開催に参加し、大阪市との協議を実施。

新型特養ユニットケアの見学

（岡山県きのこエスポール・大阪市博愛の園・福岡県よりあいの森）

小規模多機能居宅介護の研修会に参加。

#### ④ 人材育成を基盤とした管理職体制の見直し、給与体系の見直し

職員人材育成を職員すべての者が認識すべく、ふれ愛からも人材育成チームに 3 名の参加を行い、法人に求められる職員像を細分化し評価制度につなげ、給与体制の確立がなされた。

### 3・工事大規模改修等

3 号館 外壁防水工事（浴室外庭の植木撤去）

食堂の椅子・机などの買い替えは未実施。